

1. 検討の進め方

防災の取り組みについては、平成23年3月度の主任児童委員部会定例会から協議を開始しました。

(1) 定例会について

名張市主任児童委員部会の定例会は、原則月1回・第4金曜日に開催しています。主任児童委員は8地区から各地区2名、市全体で16名の委員が部会活動を行っています。

定例会では、健康支援室との「こんにちは赤ちゃん訪問連絡会及び研修会」や、子育てに関する議事を中心に協議・報告を行っています。

[名張市主任児童委員]

	担当地区	名前	担当地区	名前
部長	桔梗が丘	平見 真由美	比奈知	阪口 絹子 (~H24.3.31)
副部長	箕 曲	谷出 貞代	比奈知	西村 洋子 (H24.4.1~)
	名 張	竹原 サヨ子	比奈知	廣谷 真由美
	名 張	小林 恵美	錦 生	森川 淳子
	蔵 持	長田 まち子	赤 目	藤永 孝子
	蔵 持	常木 春枝	箕 曲	辻本 弥生
	薦 原	濱田 豊子	国 津	栢森 頼子
	美 旗	中森 かよ子	つつじが丘	草部 豊美
	桔梗が丘	浅田 章子		

(任期：H22.12.1~H25.11.30)

(2) 検討の経過

定例会では、平成23年度から25年度にわたり、災害時備蓄品の確保について活発な議論・意見交換や、視察研修・研修を行いました。

① 平成23年度 全8回

- ① 乳幼児を抱えている家庭の防災時の課題について
「こんにちは赤ちゃん訪問」事業から見えてくる各地域の現状の報告
- ② 主任児童委員部会としての支援のあり方について
- ③ 神戸市の防災備蓄に関する取り組みについて
- ④ 名張市の防災備蓄品について
名張市の資料より
- ⑤ 『乳幼児がいる家庭の防災お役立ち帳』の作成と配布について

② 平成24年度 全7回

- ① 神戸市災害備蓄品視察研修について
 - ・視察内容の検討
 - ・視察後のまとめ
- ② 主任児童委員部会としての防災の取り組みについて
 - ・「こんにちは赤ちゃん訪問」事業、地域のひろば事業等を活用した防災時の啓発活動のあり方について
 - ・乳幼児家庭の災害時備蓄品の確保に関する意見具申について
 - ・各地区における乳幼児家庭の把握について
- ③ 名張市の防災関係備蓄品の現状について

③ 平成25年度 全4回

- ① 乳幼児家庭の災害時備蓄品の確保に関する意見具申について
- ② 各地区における乳幼児家庭の把握のあり方と児童委員との連携について

④ 視察研修

- ① 神戸市災害備蓄品視察研修 (H24. 5. 25)
神戸市 勤労会館・神戸震災復興記念公園
- ② 災害時における支援の取り組みについて (H25. 3. 22)
講師：名張市危機管理室 深山哲郎氏

(3) 検討のまとめ

① 「こんにちは赤ちゃん訪問」から見てきたこと

① ヒアリング内容について

- ・『災害が実際に起こったら』と考えると、子どもを連れてどうなるのかと不安になる。
- ・非常持ち出し品について準備しなければいけないことはわかっているが、育児で手いっぱいを用意する気になれない。
- ・非常持ち出し品として子どもの哺乳瓶や消毒の準備をしないといけないことはわかっているが、新しいものは用意し難い。

② 定例会でのまとめ

定例会では各委員からの個別のヒアリング内容について、以上のような聞き取り内容の報告がありました。

乳幼児を抱えている家庭では、災害時の危機意識はもっているが、日々の育児に追われて、非常持ち出し品の準備ができていないという状況が明らかになりました。準備が出来ていない背景には、『無駄になるかもしれない買い物をしたくない』という気持ちを優先させてしまうことで、あらためて哺乳瓶や消毒用品の用意をするという気持ちが妨げられてしまうためのようです。

また、『もし地震が起こったらどうしよう』という不安感を持ちながら、『避難所に行ったらなんとかなるだろう』という考えを持っている家庭が多いことがわかりました。

そして、「こんにちは赤ちゃん訪問」時に避難所に災害備蓄品の備えがないことを知らせると、大変驚かれる方が多数いることがわかりました。